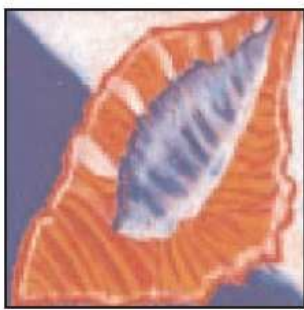
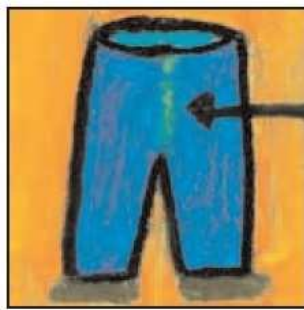




dengua



kai



tsiak



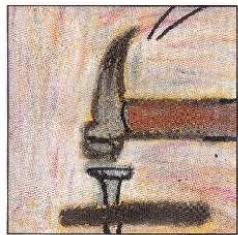
tento



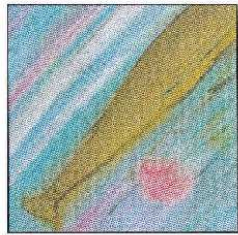
uasi



chito



daiksang



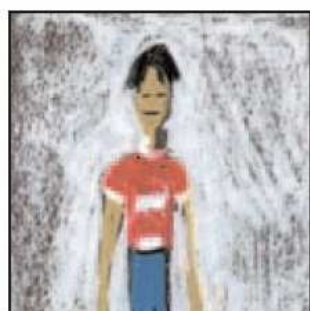
iakiu



kafatsumuri



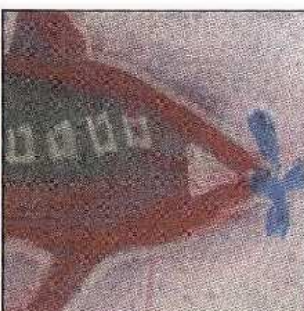
kokubang



Asao



hong



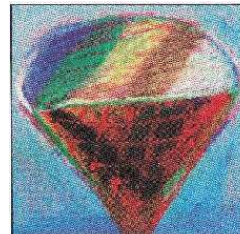
skoki



hatoba



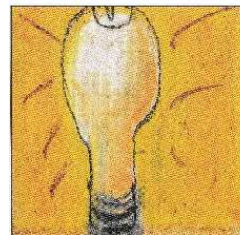
ringngo



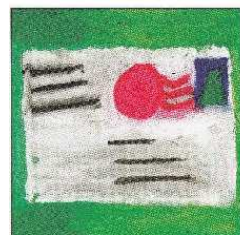
kori



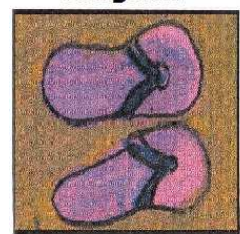
siats



tama



tengami



zori

公開研究会

旧南洋庁地域パラオの日本語から アジア・太平洋の日本語教育を考える

日時 2014年7月9日(水) 9:00~14:00

会場 University of Technology Sydney, Building 10, 14th floor, meeting room 1

研究発表

第1部: 旧南洋庁地域の日本語

9:00-9:40 ダニエル・ロング(首都大学東京)「パラオ国の『アンガウル日本語』の特徴および言語接触論的位置づけ」

9:40-10:20 齋藤敬太(首都大学東京・博士前期課程)「パラオ人の日本語話者に見られる『埋め合わせ方略』」

10:35-11:15 渡辺真由子(首都大学東京・博士前期課程)「パラオの借用語の音韻規則について」

第2部: アジア・太平洋地域における母語別対応の日本語教育

11:15-11:45 今村圭介(長崎大学)、スギハルトノ(インドネシア教育大学)「JFL環境のジャワ語・スダ語母語日本語話者のスタイル切り換え」

12:50-13:20 趙麗雯(首都大学東京・博士後期課程)「中国語話者と「した?していないよ」の『非対称的アスペクト表現』」

13:20-14:00 磯野英治(大阪大学)「インドネシア人学習者と日本語の『一般用語の専門的意味』」

主催: 科学研究費プロジェクト「ネイティブ不在地域で発生した新型接触言語—『アンガウル島日本語』の調査研究—」

支援: 首都大学東京学長裁量戦略的研究プロジェクト「日本へのインドネシア移民の日本語教育を支える日尼対照言語学的研究」

問い合わせ dlong@tmu.ac.jp